



天心館（相撲） 東北大会で3位入賞

町内で活動している天心館の子どもたちが、8月18日に山形県米沢市で開催された東北学童相撲大会とJOCジュニアオリンピック東北ブロック予選会（東北大会）において、団体戦・学年別個人戦で3位入賞を果たし、結果を報告するため町長室を訪れました。

8/20

天心館は昨年も東北大会に出場しており、今年出場した子どもたちのうち3人は、2年連続での出場となりました。7月31日に東北大会出場の報告に訪れた際、子どもたちは「まずは予選突破を目指して頑張りたい」と目標を語っていましたが、目標を上回る好成績を収めました。

東北大会を終えて、6年生の熊谷琉生君は「団体戦で3位入賞することができて嬉しかったです。5年生には来年、東北大会優勝を目指して頑張ってもらいたい」と語りました。

学年別個人戦で3位入賞した阿部福乃介君と小野光太郎君は12月に両国国技館で開催される全国大会へ出場する予定です。



東北大会の結果を報告するため訪れた天心館のメンバー

町内の小学校へ寄付

青森銀行深浦支店友の会から町内の小学校3校へ寄付金が贈られました。

青森銀行深浦支店友の会は、来年1月に予定されている青森銀行とみちのく銀行の合併に伴い、活動を終了することになりました。活動終了を記念して、今回の寄付金を贈ることになりました。

佐藤副会長は「学校教育で役立てていただければ幸いです」と目録を手渡しました。目録を受け取った小野教育課長は「管内小学校の学校教育に有効活用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。

8/23



小野教育課長（右）へ目録を手渡した佐藤副会長（左）



ロケットを打ち上げる様子

本物と同じ原理のモデルロケットを自分たちで作成した後、近くの野球場にて打ち上げも体験しました。講師の山田宏美さん（十和田市）のカウントダウンに合わせて発射。アッという間に時速200キロで約40mまで上昇した後、パラシュートでゆっくり落ちてくるロケットをキャッチすべく走り回りました。主催した総合型地域スポーツクラブ「Joy Spo!ふかうら」平沢一臣会長は、「どうせ無理と諦めず、挑戦する大切さを学んで欲しい」と語りました。

思うは招く、飛ばせ、 夢のロケット！

子供ロケット教室が町農村環境改善センター（北金ヶ沢）で行われました。

今回の教室は、宇宙航空関連機器やハイブリッドロケットの研究開発で知られる植松電機（北海道）の協力により実現しました。

8/25



みなさんの身近な話題・行事・出来事などの情報をお寄せ下さい。

深浦町総合戦略課 企画調整係
電話 74-2122

県教育長表彰（学校安全表彰）

修道小学校（小島史靖校長）が、令和6年度青森県学校保健及び学校安全表彰（県教育長表彰）を受けました。この表彰は、学校保健及び学校安全の普及と向上のため、優秀な成果を上げた学校等関係者に対し行われるものです。修道小学校は、令和3年度からの2年間、「命を守る！防災教育推進事業研究校」に指定され、全校を挙げて地域と一体となって安全防災教育の実践に取り組んできました。コロナ禍という情勢下でありながら、オンラインで防災講演会を配信するなど工夫を重ね防災教育を行い、また、「未来の防災リーダー育成10年計画」を定め、地域と共に継続的に取り組んだことなどが他校の模範となる活動として高く評価され、今回の表彰団体に選ばれました。

8/9



表彰状を受け取った小島校長（左）と斉藤養護教諭（右）

お盆の風物詩

大間越地区で「獅子舞」が披露されました。

平成7年に県の無形民俗文化財に指定された獅子舞は、地域の住民にとってお盆の風物詩となっています。

本来であれば、大間越稲荷神社、春道庵、大間越地区コミュニティセンターの3か所で行われる予定でしたが、この日はあいにくの雨模様となったため、地区センターの室内でのみ行われました。センター内には、獅子舞を一目見ようと地域住民や帰省していた人たちが約30人が集まり、伝統の舞を大いに楽しみました。十五夜（9月17日）にも獅子舞が披露されます。

8/13



大間越獅子舞

野球教室が開催されました

一般社団法人NICO Projectで代表理事を務めている元ヤクルトスワローズの小森孝憲さんが主催する野球教室が八森山野球場で開催されました。野球教室には、深浦町と鱈ヶ沢町の児童が所属している野球チーム「西津軽SPIRITS」の子どもたち25名が参加し、守備や打撃、ピッチングについて元プロ野球選手から指導を受けました。

野球教室を主宰した小森さんは「みんながユニフォームを着てグラウンドで野球ができているということは、すごくありがたいこと。感謝の気持ちを持つこと、一生懸命やることを忘れず、どんな大人になりたいかを考えながら毎日過ごしてください」と子どもたちにエールを送りました。

8/16



子どもたちへ送球の指導する小森さん

恒久の平和を祈念

町出身の戦没者を追悼し、恒久の平和を祈念する深浦町平和祈念祭が、町民文化ホールで行われました。

式典には、関係者や遺族の方々など54人が出席。君が代斉唱後、戦没者への黙祷が捧げられました。

その後、吉田町長が「戦争とは、一人ひとりの自由を奪い、幸福の追求を阻むものであることを私たちは心に刻み、悲しみの歴史を二度と繰り返さないとの決意を新たにしております」と、追悼の言葉を述べました。

参列者は一人ひとり献花をし、戦争のない平和な社会を祈りました。

8/20



戦没者へ献花する参加者